



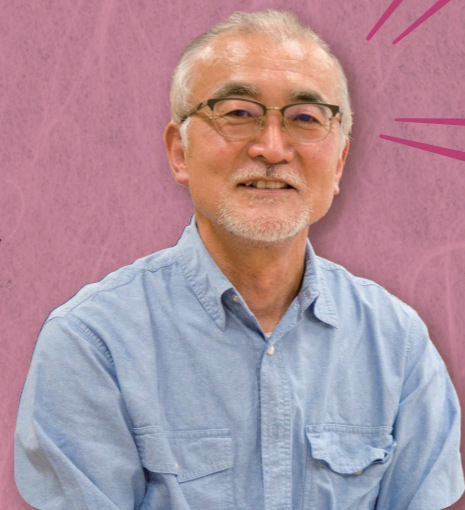
探検！ むかしの暮らし

4月にリニューアルオープンした郷土資料館

資料の収集や調査・研究を行う郷土資料館には、豊富な資料が展示されています。古文書や長年使用されてきた民具など、自宅に残された貴重な資料を通じて、むかしの暮らしや価値観に触れることができます。そんな大人も子どもも楽しめる魅力に満ちた館内を紹介します。

いなべ市
郷土資料館

住 藤原町上相場 838
☎ 46-2526
🕒 9:00～17:00
📅 月、火、年末年始



郷土資料館館長 清水 弘之 さん

資料に関する質問があれば、遠慮なく問い合わせてください。懐かしい思い出に浸りながら一人でゆっくり眺める人もいます。自分に合った楽しみ方で過ごしてください。



◆昭和の部屋

テレビを見ながら過ごしてみて！

居間の畳でくつろいで、タイムスリップしたような感覚に。



昭和のランドセル

現代の物より、ひとまわり小さいです。

◆第一展示室

「衣」「食」「住」がテーマ！

当時使用されていたミシンやアイロン、電話機のほか、約2,000年前の宮山遺跡(大安町丹生川地区)から出土した石斧(せきふ)や、73年前の員弁高等学校郷土研究部の部誌などを展示。



いなべは石斧の名産地！?

宮山遺跡の石斧は、「ハイアロクラスタイト」という重くて固い石を材料にしているのが特徴。愛知県や三重県内の弥生時代の遺跡でも出土しており、品質の高さから広い範囲に普及していたことがわかります。



◆第三展示室

農業や林業、職人の道具を紹介

お茶作りに必要な、手もみ茶を仕上げる「焙炉(ほうろ)」や、茶葉を保管しておく茶つぼなどを展示。また、当時の生活必需品のかけについて、北勢町阿下喜にあるおけ屋「桶長」の店内を再現して展示しています。おけ作りの作業工程を映像で見することもできます。

染物体験「手ぬぐい作り」

- 日時：8月20日(日) 9:00～12:00
- 参加費：一人300円

親子でいっしょに楽しめる体験イベント。作った手ぬぐいを2枚持ち帰れます。



詳細はコチラ▲

